

前橋赤十字病院 NPO法人周産期医療支援機構共催 BLSO Provider Course



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

～周産期救急は、多職種チームのコラボレーション～
救急隊・ER・ICU・周産期・新生児

分娩施設の減少やハイリスク妊婦の増加等により、周産期救急は産科や小児科だけでは対応困難なケースも見受けられます。地域の救命士、救急集中治療の医師・看護師、麻酔科や手術室看護師まで含めて全力を注がなければ母体・新生児の救命を行うことはできません。また近年の救急医は小児救急も対応できるようになってきましたが、未だに産科救急・妊娠産褥期の内科救急は苦手としています。救急医療従事者の産科救急に対するレベルアップも重要です。

また、近年は大規模な災害も増加傾向にあります。災害時には早産などの発生も増加する上に搬送手段も限られてくるなど、特に現場と医療機関との連携が重要となります。そのために共通言語で話す事ができ、顔の見える関係を築く事が必要不可欠です。

昨今の周産期救急の現状に対応すべく、前橋赤十字病院において周産期救急に携わる医療関係者に対して以下の標準化コースを開催します。

みなさまのご参加をお待ちしています。

●BLSOプロバイダーコース

BLSO (Basic Life Support in Obstetrics) は、病院外・病院前での妊産婦救急を想定した、産科に関する基礎的なトレーニングプログラムです。日本では734件/年の施設外分娩事例を救急隊が収容しています(2010年全国消防本部アンケート調査)。

また、外傷や内科疾患でERに搬送される妊婦は珍しくなく、大規模災害では専門科問わず妊産婦救急に対応する必要があります。本コースでは、妊婦の評価方法、車中などでの分娩介助、新生児蘇生、妊婦蘇生などを1日かけて講義と実習で学びます。

日頃は産科医療に関与してないが、車中分娩や妊産婦救急に遭遇することがある救急救命士、救急の看護師・医師、家庭医などを対象としたプログラムです。

対象：救急救命士、看護師、救急医など (学会参加者を優先いたします)

日時：2020年1月17日(金)

※ 第70回 日本救急医学会関東地方会

第57回 救急隊員学術研究会

前日

8:30～18:00 予定(1日間コース)

定員：24名 費用：18,000円

場所：前橋赤十字病院 大会議室

申込方法：以下のURLから応募して下さい

<https://my.formman.com/t/pdUP/>

※注釈を読みながら入力して下さい

携帯のメールアドレスでは登録できません

募集締切：11月10日(日)

※申し込み順での受講決定ではありません。

申込者多数の場合は、職種や地域性を加味して

受講決定させて頂きますので、ご了承下さい。

※当日の昼食はございません。各自でご用意して下さい。



前橋赤十字病院
Japanese Red Cross Maebashi Hospital

受講のご案内

テキスト

- ※ 受講料には含みません事前課題の学習に必要です。各自でご準備ください。
- ※ 事前課題は受付時にご提出いただきます。

- ① 日本版救急蘇生ガイドライン2015に基づく新生児蘇生法テキスト
(監修：細野茂春 発行：メジカルビュー)
- ② 病院前救護のための産科救急トレーニング妊娠女性・院外分娩に対する実践的な対処法
(翻訳：新井隆成 発行：中外医学社)

講習会の内容

講義	実技
分娩介助	正常分娩介助・胎盤臍帯処置・肩甲難産・産後大出血 等
新生児蘇生	NCPR手技(評価、初期処置、換気、胸骨圧迫 等)
女性傷病者の評価	事例対応(情報収集・観察の仕方 等) 妊婦蘇生
救急車内分娩	実際に救急車内でシミュレーション
症例検討	全受講者でディスカッション
認定試験	実技試験 筆記試験



前橋赤十字病院
TEL:027-265-3333

関越自動車道より
「高崎IC」より県道27号線経由で9分

北関東自動車道より
「前橋南IC」から県道11号線経由にて9分

バス・電車より
前橋赤十字病院HPをご覧ください